

「新技術情報提供システム」による 「有用な新技術」の検索手法について

中部地方整備局 中部技術事務所

日頃より新技術活用の取り組みについて、ご理解ご協力をありがとうございます。

国土交通省では、有用な新技術の積極的な活用と技術のスパイラルアップを目的として、事後評価に重点をおいた「公共工事等における新技術活用スキーム」を運用しています。

民間事業者等により開発された有用な新技術を公共工事等において積極的に活用していくための制度であり、新技術情報提供システム（NETIS）を中核とする新技術情報の収集と共有化、国土交通省発注工事（以下、「直轄工事」という。）等での活用導入の手続き、効果の検証・評価、さらなる改良と技術開発という一連の流れを体系化したものです。

このため、本省に設置された新技術活用スキーム検討会議及び地方整備局等に設置された新技術活用評価会議において、新技術の活用促進を図るため、有用な新技術（「推奨技術」、「準推奨技術」、「評価促進技術」、「活用促進技術」）を選定しています。

「有用な新技術」は逐次追加・削除されることがありますので、「有用な新技術」の検索方法をとりとめました。

本書が、今後の公共工事等の品質確保並びに良質な社会資本の整備の一助となれば幸いです。

手順Ⅰ. 登録されている全ての「有用な新技術」を検出

- ① 「有用な新技術の選択」欄の全ての□（「推奨技術」「準推奨技術」「評価促進技術」「活用促進技術」）をクリックし、チェック（☒）を入れる。
- ② **この条件で検索** をクリックする。
⇒ 全ての「有用な新技術」が検索される。

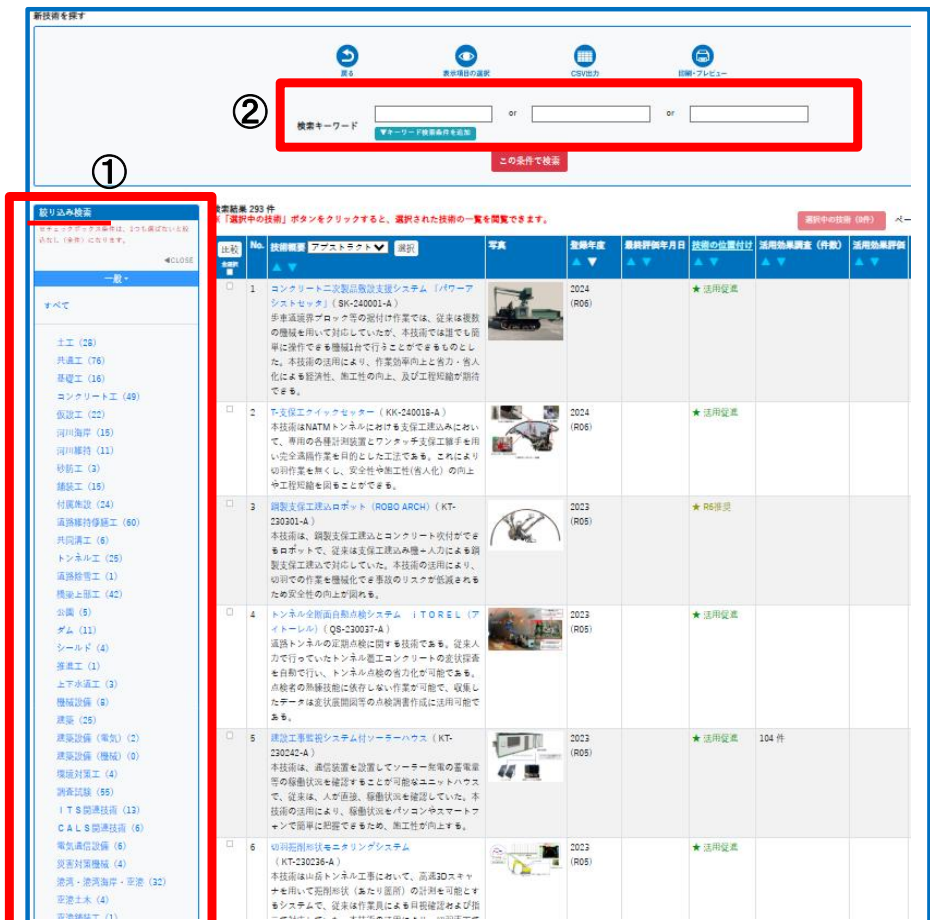


The screenshot shows the NETIS (New Technology Information System) homepage. A red box highlights the '有用な新技術の選択' (Select Useful New Technology) section. Below this, there are four checkboxes: '推奨技術' (Recommended Technology), '準推奨技術' (Quasi-recommended Technology), '評価促進技術' (Evaluation Promotion Technology), and '活用促進技術' (Utilization Promotion Technology). Arrows point to each checkbox with the label '① クリック' (Click). Below these, there is a red box with the label '② クリック' (Click) pointing to the 'この条件で検索' (Search with this condition) button.

手順Ⅱ. 「有用な新技術」の検索方法には、

- ① 「工種」による絞り込みと、
- ② 「キーワード」による絞り込みがある

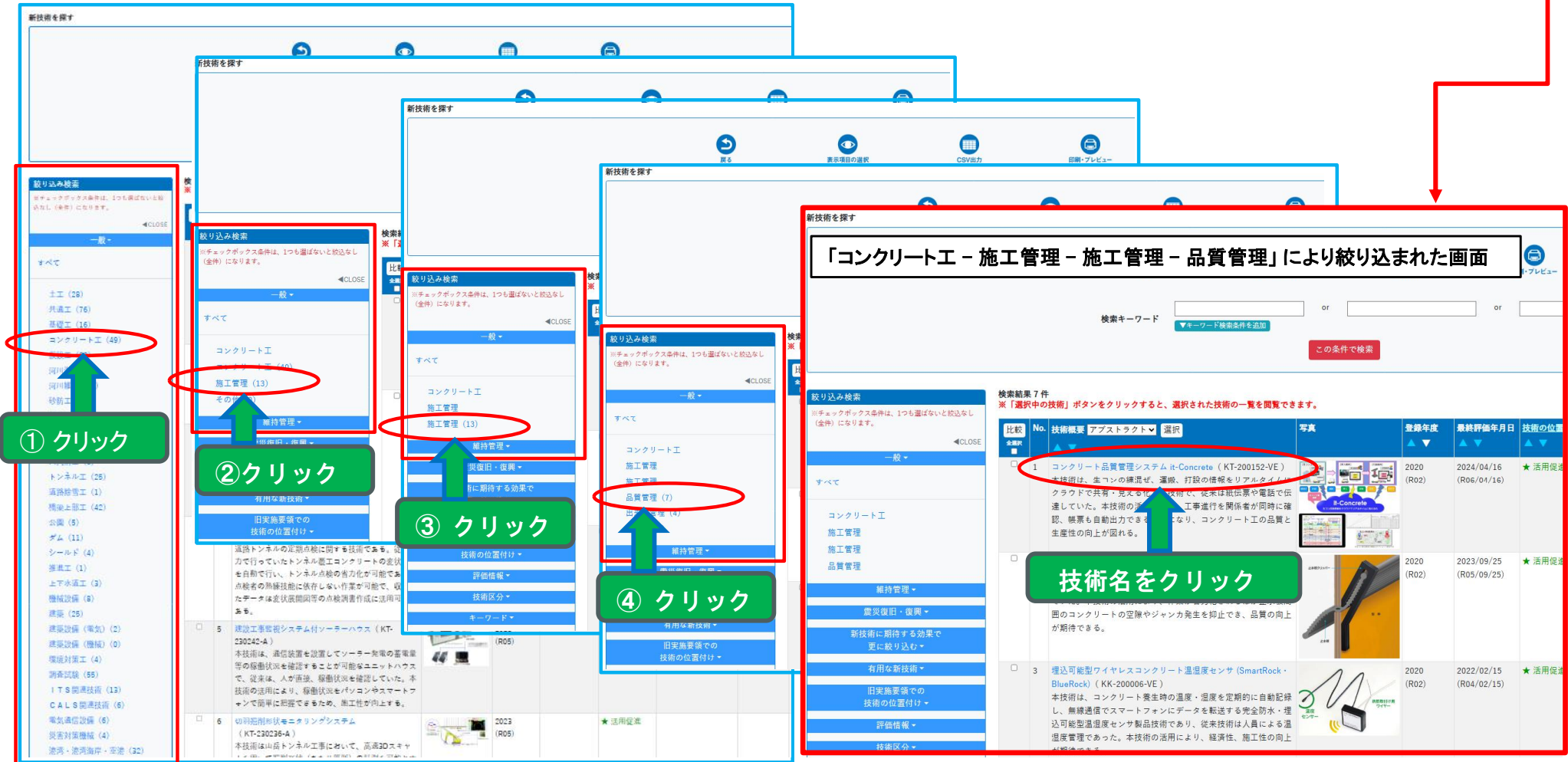
- ① 「工種」による絞り込みは、「絞り込み検索」欄から検索したい新技術の「工種」を選定してクリックする。
- ② 「キーワード」による絞り込みは、「検索キーワード」欄に検索したい新技術のキーワードを記載する。



The screenshot shows the search results page. A red box highlights the '絞り込み検索' (Narrow Search) section. Below this, there is a table with columns: 'No.', '技術名称' (Technology Name), '写真' (Photo), '年度' (Year), '最終評価年月日' (Final Evaluation Date), '技術の位置付け' (Technology Positioning), '活用効果調査 (件数)' (Utilization Effect Survey (Number of Cases)), and '活用効果評価' (Utilization Effect Evaluation). The table lists several technologies, including 'コンクリート二次製品敷設システム' (Concrete Secondary Product Laying System), 'コンクリート二次製品敷設システム (パワーアシストセッタ)' (Concrete Secondary Product Laying System (Power Assist Setter)), 'コンクリート二次製品敷設システム (パワーアシストセッタ)' (Concrete Secondary Product Laying System (Power Assist Setter)), 'コンクリート二次製品敷設システム (パワーアシストセッタ)' (Concrete Secondary Product Laying System (Power Assist Setter)), 'コンクリート二次製品敷設システム (パワーアシストセッタ)' (Concrete Secondary Product Laying System (Power Assist Setter)), 'コンクリート二次製品敷設システム (パワーアシストセッタ)' (Concrete Secondary Product Laying System (Power Assist Setter)), 'コンクリート二次製品敷設システム (パワーアシストセッタ)' (Concrete Secondary Product Laying System (Power Assist Setter)), 'コンクリート二次製品敷設システム (パワーアシストセッタ)' (Concrete Secondary Product Laying System (Power Assist Setter)), 'コンクリート二次製品敷設システム (パワーアシストセッタ)' (Concrete Secondary Product Laying System (Power Assist Setter)), 'コンクリート二次製品敷設システム (パワーアシストセッタ)' (Concrete Secondary Product Laying System (Power Assist Setter)).

手順Ⅲ. ①「工種」による「有用な新技術」の絞り込みの「例」

- 「例」:
- 検索したい新技術の「工種」を「コンクリート工」から絞り込むこととする。
 - 「絞り込み検索」欄 から ①「コンクリート工」を選定し、クリックする。
 - その後「②施工管理 - ③施工管理 - ④品質管理」の順番にクリックしていく。
 - 「工種」による「有用な新技術」の絞り込みが行われ、コンクリート工 - 施工管理 - 施工管理 - 品質管理 の新技術が検索される。



The screenshot illustrates the process of narrowing down search results for 'Useful New Technologies' based on construction type and management category. The process is shown through a series of overlapping screenshots, each representing a step in the process.

Step 1: Click (① クリック)

The first screenshot shows the '絞り込み検索' (Narrowing Search) menu. The 'コンクリート工' (Concrete Work) option is selected under the '工種' (Construction Type) category.

Step 2: Click (② クリック)

The second screenshot shows the '絞り込み検索' (Narrowing Search) menu. The '施工管理' (Construction Management) option is selected under the '管理' (Management) category.

Step 3: Click (③ クリック)

The third screenshot shows the '絞り込み検索' (Narrowing Search) menu. The '施工管理' (Construction Management) option is selected under the '管理' (Management) category.

Step 4: Click (④ クリック)

The fourth screenshot shows the '絞り込み検索' (Narrowing Search) menu. The '品質管理' (Quality Management) option is selected under the '管理' (Management) category.

Final Result: 「コンクリート工 - 施工管理 - 施工管理 - 品質管理」により絞り込まれた画面

The final screenshot shows the search results for 'コンクリート工 - 施工管理 - 施工管理 - 品質管理'. The results are displayed in a table with columns for 'No.', '技術概要' (Technical Overview), 'アブストラクト' (Abstract), '写真' (Photo), '登録年度' (Registration Year), '最終評価年月日' (Final Evaluation Date), and '技術の位置' (Technology Location).

No.	技術概要	アブストラクト	写真	登録年度	最終評価年月日	技術の位置
1	コンクリート品質管理システム it-Concrete (KT-200152-VE)	本技術は、生コンの練混ぜ、運搬、打設の情報をリアルタイムクラウドで共有・見える化し、従来の紙による伝達に比べて、工事進行を関係者が同時に確認、帳票も自動出力できることにより、コンクリート工の品質と生産性の向上が図れる。		2020 (R02)	2024/04/16 (R06/04/16)	★ 活用促進
2	埋込可能型ワイヤレスコンクリート温度センサ (SmartRock・BlueRock) (KK-200006-VE)	本技術は、コンクリート養生時の温度・湿度を定期的に自動記録し、無線通信でスマートフォンにデータを転送する完全防水・埋込可能型温度センサ製品技術であり、従来技術は人員による温度管理であった。本技術の活用により、経済性、施工性の向上が期待できる。		2020 (R02)	2023/09/25 (R05/09/25)	★ 活用促進
3	埋込可能型ワイヤレスコンクリート温度センサ (SmartRock・BlueRock) (KK-200006-VE)	本技術は、コンクリート養生時の温度・湿度を定期的に自動記録し、無線通信でスマートフォンにデータを転送する完全防水・埋込可能型温度センサ製品技術であり、従来技術は人員による温度管理であった。本技術の活用により、経済性、施工性の向上が期待できる。		2020 (R02)	2022/02/15 (R04/02/15)	★ 活用促進

手順Ⅲ. ②-1「キーワード」による「有用な新技術」の絞り込み

- ① 絞り込みたい「キーワード」を「検索キーワード」欄に記載する。
- ② 「キーワード」が2つ以上の時、「キーワード」が両方とも必要な時 (and) は、「キーワード検索条件を追加」をクリックして記載欄を増やし、「キーワード」を記載する。
- ③ どちらかが必要な時 (or) は、横並びの記載欄に記載する。
- ④ **この条件で検索** をクリックする。



新技術を探す

検索キーワード

この条件で検索

② クリック

④ クリック

検索結果 304 件

比較	No.	技術名	写真	最終評価年月日	技術の位置
☐	1	コンクリート二次製品敷設支援システム「パワーアシストセツタ」(SK-240001-A)		2024 (R06)	★ 活用促進
☐	2	T-支援工タックセッター (KK-240018-A)		2024 (R06)	★ 活用促進
☐	3	クラウド型転圧管理ソリューション「Solution Linkage Compactor」(KT-230305-A)		2023 (R05)	★ R7推奨

手順Ⅲ. ②-2「キーワード」による「有用な新技術」の絞り込みの「例」

- 「例」:
- a. 絞り込みたい「キーワード」を「温度」「養生」として検索される新技術をもとめる。
 - b. 「検索キーワード」欄に「キーワード」として、①「温度」と②「養生」を記載する。
 - c. **この条件で検索** をクリックする。
 - d. 「キーワード」による「有用な新技術」の絞り込みが行われ、「温度」「養生」の新技術が検索される。



新技術を探す

① 温度

② 養生

検索キーワード

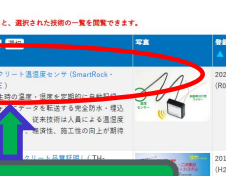
この条件で検索

クリック

「温度」「養生」により絞り込まれた画面

技術名をクリック

検索結果 2 件

比較	No.	技術名	写真	最終評価年月日	技術の位置
☐	1	温度・養生管理システム「スマートロック」(KK-200006-VE)		2020 (R02)	★ 活用促進
☐	2	温度・養生管理システム「スマートロック」(KK-200006-VE)		2020 (R02)	★ 活用促進

手順Ⅳ. 検索技術の申請資料を確認

- ① 「絞り込み検索した技術」の技術名をクリックする。
⇒ 新技術概要説明情報が表示される。
「技術の位置付け」から「活用促進技術」であることが確認できる。

参考：「評価結果」の見方

- ① 「評価結果」は「技術の位置付け」欄で確認出来る。
ここでは「推奨」「準推奨」「評価促進」「活用促進」の区別が表示される。

新技術

2025.5.13 現

新技術概要説明情報

NETIS登録番号

KK-200006-VE

技術名称

埋込可能型ワイヤレスコンクリート温度センサ (SmartRock・BlueRock)

事後評価

事後評価済み技術 (2022/02/15 (R04/02/15))

テーマ設定型比較表への掲載

無

受賞等

技術審査証明技術

建設技術審査証明

事前審査・事後評価

事前審査

活用効果評価

技術の位置付け (有用な新技術)

推奨技術

準推奨技術

評価促進技術

活用促進技術

旧実施要領における技術の位置付け

活用促進技術(旧)

設計比較対象技術

少費簡便良技術

活用効果調査入力様式

-VE

活用効果調査は不要です。(フィールド提供型、テーマ設定型で活用する場合を除く。)

適用期間等

-VE評価：令和4年2月15日～ 活用促進技術 令和4年2月15日～

上記※印の情報と以下の情報は申請者の申請に基づき掲載しております。 申請情報の最終更新年月日：2023/06/12

概要

副題

コンクリート打設後の養生温度を定期的に自動記録し、無線通信でスマートフォンにデータを転送することができる完全防水・埋込可能型温度センサ

分類1

コンクリート工 - コンクリート工 - 養生

分類2

コンクリート工 - 施工管理 - 施工管理 - 品質管理

分類3

新技術を探す

戻る

表を現在の状態

CSV出力

印刷・プレビュー

検索キーワード

▼キーワード検索条件を設定

この条件で検索

①

絞り込み検索

検索結果 293 件

※「選択中の技術」ボタンをクリックすると、選択された技術の一覧を開覧できます。

選択中の技術 (0件)

比較	No.	技術概要	アブストラクト	写真	登録年度	最終評価年	技術の位置付け	有効期間 (件数)	活用状況
すべて	1	コンクリート二次製品製造支援システム「パワーアシストセッサー」(SK-240001-A)			2024 (R06)		★活用促進		
	2	下支保工レイアウトセッター (KK-240018-A)			2024 (R06)		★活用促進		
	3	鋼製支保工建設ロボット (ROBO ARCH) (KT-230301-A)			2023 (R05)		★R6推奨		
	4	トンネル全断面自動点検システム I T O R E L (アイトレル) (QS-230037-A)			2023 (R05)		★活用促進		
	5	建設工事監視システム付ソーラーハウス (KT-230242-A)			2023 (R05)		★活用促進	4 件	
	6	切羽掘削形状モニタリングシステム (KT-230236-A)			2023 (R05)		★活用促進		

推奨技術 準推奨技術

公共工事等に関する技術の水準を一層高めることを目的に、**本省が**設置する新技術活用スキーム検討会議によって**選定した画期的な新技術**です。また、国土交通省が所管する表彰制度において**内閣総理大臣賞・国土交通大臣賞を受賞したNETIS登録技術**も選定されます。

活用促進技術

地方整備局が設置する新技術活用評価会議によって**総合的に活用の効果が優れている技術等として選定された新技術**です。また、国土交通省が所管する表彰制度において**内閣総理大臣賞・国土交通大臣賞以外を受賞したNETIS登録技術**も本省によって「活用促進技術」として選定されます。

評価促進技術

新技術活用スキーム検討会議が**他機関等の実績に基づき、公共工事等に関する技術水準等を高めることが見込める技術として選定した新技術**です。

表示項目の選択

-

手順 2. 「検索結果一覧項目の設定」で「表彰内容」を検索

① 「検索結果一覧項目の設定」には「表彰内容」が記載されているので、検索したい表彰の □（「国土技術開発賞」「インフラDX大賞」「インフラメンテナンス大賞」「日本建設機械施工大賞」「日本オープンイノベーション大賞」「宇宙開発利用大賞」「ものづくり日本大賞」「日本スタートアップ大賞」「ロボット大賞」）をクリックし、チェック（☒）を入れる。

② **表示項目を設定** をクリックする。

⇒ 選択した「表彰項目」が検索される。（チェック（☒）を入れた項目は、全て検索される。）

検索結果一覧項目の設定

表示項目を指定し、「表示項目を設定」ボタンを押してください。変更した内容はブラウザを閉じた後も保持されます。



戻る

① 表彰内容

☒ 写真◆
☐ レベル1
☒ 登録年度◆
☐ 活用効果調査（件数）◆
☒ 国土技術開発賞
☒ 日本オープンイノベーション大賞
☒ ロボット大賞
☐ 活用の効果★
☐ 災害時活用技術情報概要
☐ 備考◆

☐ 収集整備局名
☐ レベル2
☐ 最終評価年月日◆
☐ 試行実証評価◆
☒ インフラDX大賞（旧i - Construction大賞）
☒ 宇宙開発利用大賞
☐ 試行現場照会
☐ 更新履歴
☐ 災害対応関連工事・業務の実績

☐ 区分
☐ レベル3
☐ 技術の位置付け◆
☐ 活用効果評価◆
☒ インフラメンテナンス大賞
☒ ものづくり日本大賞
☐ 歩掛1★
☐ 開発年
☐ 維持管理に活用する技術情報概要

☐ レベル4
☐ 事前審査◆
☐ 技術審査証明
☒ 日本建設機械施工大賞
☒ 日本スタートアップ大賞
☐ 歩掛2★
☐ 開発会社
☐ 点検関連工事・業務等における活用実績

◆は初期設定の表示項目です。

★歩掛1(標準歩掛・暫定歩掛)、歩掛2(協会歩掛・自社歩掛)、活用の効果(経済性向上・工程短縮)

※表示項目を多く選択した場合は、検索結果一覧のレイアウトや印刷が崩れる場合があります。

※実績活用効果調査を選択すると表示に時間がかかる場合があります。

表示項目を設定

初期設定に戻す

手順 3. 選定した「表彰項目」の表示画面

- ① 検索した「表彰項目」が選定され、該当する新技術には ★ 印がつく。
(スペースの関係で選定した表彰項目が全て表示がされない場合は、③「CSV出力」  をクリックして確認する。)
- ② 確認したい「表彰項目」について、右 ▼ をクリックすると、該当する新技術が前に表示される。


戻る


表示項目の選択


CSV出力


印刷・プレビュー

検索キーワード

or

or

▼キーワード検索条件を追加

この条件で検索

絞り込み検索

※チェックボックス条件は、1つも選ばないと絞り込みなし(全件)になります。

▼CLOSE

一般 ▼

すべて

土工 (32)

共通工 (82)

基礎工 (17)

コンクリート工 (51)

仮設工 (24)

河川海岸 (17)

河川維持 (11)

砂防工 (4)

舗装工 (17)

付属施設 (25)

道路維持修繕工 (61)

共同溝工 (6)

トンネル工 (25)

道路除雪工 (1)

橋梁上部工 (43)

検索結果 304 件

※「選択中の技術」ボタンをクリックすると、選択された技術の一覧を閲覧できます。

選択中の技術 (0件)

ページ件数 10件 25件 50件

比較	No.	技術概要	アブストラクト ▼	選択	写真	登録年度	国土技術 開発賞	インフラDX大賞 (IIT - Construction大賞)	インフラ メンテナンス大賞	日本建設機械 施工大賞	日本オープン イノベーション大賞	宇宙開発 利用大賞
☐	1	吸水性泥土改質材「ワトル」(TH-160010-VR) 本材料は、吸水性の高いペーパーラジック焼却灰(PS灰)を主原料とした泥土改質材である。本材料を泥土に添加混合することで、本材料が泥土中の水分を吸収し泥土の強度を高める。本材料はPS灰に補助薬剤と水を添加混合後乾燥処理したものである。				2016 (H28)	★					
☐	2	油圧ハンマの騒音防止装置を使用した鋼管杭の打止め工法 (KT-210028-VE) 本技術は、市街地における鋼管杭施工時の先端処理を打撃方式での打止め施工を可能とする低騒音・無排土施工技術で、従来は中掘圧入先端根固め工法で対応していた。本技術の活用により、杭の支持力が容易に確認でき、品質の信頼性の向上が図れます。				2021 (R03)	★					
☐	3	ダイス・ロッド式摩擦ダンパー(DRF-DP)による橋梁耐震技術 (KT-200137-A) 本技術(DRF-DP)は橋梁についてレベル1地震動には支承部の固定部材として働き桁ズレを防止、レベル2地震動には橋脚が受ける桁からの水平力を減じる技術である。従来は支承付属の治具(サイドブロック)で対応していた。本技術によりレベル2地震動時の耐震性が				2020 (R02)	★					

9